



ヨネックスカントリークラブ
理事長 米山 勉

新年を迎え、メンバーの皆様並びにご来場の皆様に謹んでお慶び申し上げます。

いよいよ2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まで残すところ1年となりました。開催に向けてスポーツ界の機運が高まりをみせる中、ヨネックスの関連競技においても多くの契約選手が世界で活躍する嬉しいニュースが続々と届いております。前回のオリンピックから正式種目となったゴルフにおいても、ますます盛り上がりを見せる1年となることでしょう。ヨネックスとして、さらには当クラブにおきましても、東京オリンピック・パラリンピック成功に向けての一翼を担うべく貢献して参りたいと存じます。

2018年はヨネックスカントリークラブ開場以来最も多い積雪に見舞われながら幕を開け、夏は全国的に記録的な猛暑となり、昨年も天候に大きく左右される1年となりました。そのような中でも年間を通して多くのご来場を賜り、且つ大きな事故もなく1年を締めくくりましたこと、メンバー様をはじめご来場の皆様に心より感謝申し上げます。

また記念すべき20回目の大会となりました「ヨネックスレディスゴルフトーナメント2018」においては大会期間中好天にも恵まれ、3日間で14846名の大ギャラリーをお迎えし成功裡に開催することが出来ました。大会は大山志保プロが大会史上最多タイとなる三度目の優勝を飾り、「いつも私を温かく迎えてくれるヨネックスカントリークラブが大好きです。」との優勝コメントをいただき、大変感激いたしました。

ヨネックスレディスゴルフトーナメントも開催20回を終え、今後10年先20年先を見据えたクラブ運営の未来像を描く大きな節目を迎えております。今一度1996年の開場時の原点に立ち返り「日本海側随一のゴルフ場」を目指し改革を進めて参ります。その実現のためにはまず、日頃より快適なコース環境の整備及び質の高いサービスを追求し、ご来場いただいたすべてのお客様に一層ご満足いただけるよう努めてまいり所存です。引き続き変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、2019年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを、さらにはゴルフを通じて健やかな1年を過ごされますことを心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。